キマグレ 第1898号 彦根東高校新聞 平成30年（2018年）7月19日（木）

ＳＳ部地学班

体験的に地学を学ぶ

▶地学班員は仲良く活動している。

今回の文化部キマグレでは、ＳＳ部地学班を紹介する。

ＳＳ部地学班は２年生３人、１年生２人の計５人で活動をしている。天体望遠鏡を用いた惑星の観測やフィールドワークなどを通して体験的に地学の知識を深めたり、全国大会を目指して地学の研究をしたりすることを中心に日々活動を行っている。「ゆるく楽しく」をモットーとした自由な雰囲気の部活だが、研究はしっかりと真面目にする、というようにメリハリを大切にしている部活だ。

▲研究発表の予行練習を行う地学班員

現在２年生は「マグマの移動のモデル化について」と題した研究を行っている。これは昨年の３年生が「日本地質学会『小さなEarth Scientist研究発表大会』」で奨励賞を受賞した課題研究を引き継いだものだ。地学班班長の福永こひろさん（２―２）は「これはゼラチンを地殻に、ごま油をマグマに見立て、それにさまざまな操作を加えてモデルの様子を観察し、マグマの移動のメカニズムを解明するという研究だ」と説明した。

天体を観測するために屋上に上がることができることや天体観測のために学校に泊まることができること、週１回の活動のため勉強との両立が可能な点など、地学班には魅力が多くある。最後に地学班員たちは「理系に進みたいけど地学をしたい人や運動部で疲れた人はぜひ入部してください」とメッセージを送った。

速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

地学教室の古代生物

上は地学教室に飾られている古代生物の模型だ。模型はティラノサウルス（左）、アロマロカリス（中央）、ダンクレオステウス（右、ティラノサウルスの頭上）、シーラカンス（右、ティラノサウルスの尾上）の４種類がある。ティラノサウルスの口内にルパン三世が入れられていたり、アロマロカリスがネクタイとして利用されていたりと、部員をはじめとする生徒たちに広く親しまれている。